

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	こども支援課担当課長 谷川 宏		
こども-01	実施事業	児童福祉運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	こども支援課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	保育課・こども相談課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援	

1 事業の目的

対象	児童等
意図	児童福祉事業の円滑な執行を図るため。
効果	児童福祉事業が適切に実施される。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市児童福祉審議会の運営を行った。 ・鎌倉市子ども・子育て会議の運営を行った。 ・鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン〜かまくらっ子をみんなで育てよう！〜の推進を行うと共に、プランの改定へ向けたニーズ量調査を実施した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	573	3,520	当初予算(千円)	4,431		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	573	3,520	一般財源	4,431		
事業経費運営	人員配置数	2.4	2.5	人員配置数	2.5		
	人件費(千円)	0	19,189	人件費(千円)	19,430		
	総事業費(千円)	573	22,709	総事業費(千円)	23,861		
	市民1人当りの経費(円)	3	129	市民1人当りの経費(円)	135		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 児童福祉の事業に従事する者

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	子ども・子育て会議を継続的に開催し、鎌倉市子ども・子育てきらきらプランの推進を図るとともに、必要に応じて児童福祉審議会を開催し、様々な意見を聴取し適切な事業実施を行うために現状を維持とする。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	今後も、子ども・子育て会議を開催し、鎌倉市子ども・子育てきらきらプランの次期計画の策定と共にプランの推進を図る。また、必要に応じて児童福祉審議会を開催し、様々な意見を聴取し適切な事業実施に努める。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	【子ども・子育て会議】次期計画の策定に当たってニーズ調査を行う必要があるが、調査項目等について国から方針が示されていないため、どのように調査を実施していくかが課題となっていた。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	【子ども・子育て会議】次期計画の策定に当たってのニーズ調査の調査項目等について国から方針が示されたため、調査を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	【子ども・子育て会議】次期計画策定に向けたニーズ量調査の結果や国の策定方針を踏まえ、次期計画案を作成する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	児童福祉審議会条例設置状況								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	×	×	×	×	○	×	×	×

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	児童福祉審議会の設置は児童福祉法では任意となっているが、本市では案件により児童福祉審議会での審議が有効であると考えている。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉市子ども・子育て会議の開催実績					単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
鎌倉市子ども・子育てきらきらプランの着実な進行管理を行うため。	目標値	-	実施	実施	実施	実施	実施			
	実績値	-	2.0	2.0	2.0	2.0				
	達成率	-	-	-	-	-				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	鎌倉市子ども・子育てプランの着実な進行管理のため、適切な時期に開催している。
-----------------------	--